

214 ラグビーワールドカップとオリンピック・パラリンピック（2023 年 11 月 23 日）

今年の 9 月 8 日から 10 月 28 日まで、フランスでラグビーワールドカップが開催されました。フランスは、9 月 8 日の開幕戦では、8 万人以上を収容するスタッド・ド・フランスでファンの大声援に後押しされ、予選で負けを知らなかったニュージーランドを破りました。

日本代表は、南西部のトゥールーズを事前キャンプ地として、トゥールーズ、ニース、ナントで計 4 試合を戦いました。9 月 10 日にトゥールーズで行われた日本一チリ戦には、多くのファンが日本から訪れました。気温 30 度を超える炎天下の中で、日本とチリの代表チームが熱戦を繰り広げ、日本が快勝しました。試合後にスタジアムの外では、日本人グループを見かけた地元の小学生が、立ち止まって君が代を歌う光景を目にしました。子どもたちは、ワールドカップの開催に合わせて、一年前から君が代を練習したと話してくれました。そして、その後はその場にいた人たちでフラン



ス国歌のラ・マルセイエーズを合唱し、温かい日仏交流が行われました。トゥールーズ市は、事前キャンプのためにトゥールーズ入りした日本代表チームのために、歓迎式典を開催しました。試合の日には、ファンゾーンで和太鼓演奏が行われ、トゥールーズにおいて日本に対する注目度が上がりました。

前回 2019 年のラグビーワールドカップ開催国は、日本でした。これは、アジアで初めて開催された大会でした。この時は、日本代表チームは初めてベスト 8 に入り、決勝リーグへ進みました。自国開催で日本代表チームが活躍したことから、日本でラグビー人気が高まりました。今大会は、残念ながら日本代表は決勝リーグに進むことができず、フランス代表は惜しくも準決勝で敗れましたが、選手たちの熱いプレーは、スタンドやテレビの前の多くのラグビーファンを魅了しました。

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

フランスでは、ラグビーワールドカップが終わり、いよいよ2024年夏のオリンピックとパラリンピックのパリ大会の開幕が近づいてきました。前回の開催都市は、東京です。ラグビーワールドカップの開催国は日本の次がフランス、オリンピック・パラリンピックの開催都市は東京の次がパリと、国際的なスポーツの祭典が、続けて日本からフランスへリレーすることになります。



オリンピック・パラリンピック東京大会は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年の開催予定が2021年に延期されました。やむを得ず苦渋の決断で、無観客での開催となりました。やむを得ない状況であったとはいえ、選手たちは観客の声援を受けて戦いたかったと思います。世界から日本を訪れる観客が、日本文化に触れることができなかったことも残念でした。

来夏のパリ大会では、観客の大歓声の中でベストを尽くす選手たちを見られることが期待されます。また、相互理解をより深めて、各国の歩み寄りを促す交流や対話の機会となることでしょう。

